

会 議 録

1. 会議名	国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額分について
2. 開催日	令和7年6月10日（火）
3. 出席者	市長、副市長、小西市長公室長、阪上企画財政部長、的場企画財政部副部長 田家総務部長、森田総務部副部長 担当部：岡本市民環境部長、人見市民環境部副部長、河合産業振興課長

4. 会議の目的
国の経済対策として、令和7年5月27日付で閣議決定された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額分について、交付金の活用内容を決定する。
5. 補足説明（現状、課題など）
令和6年度の交付金の推奨事業メニューを用途として、増額となったものである。 増額は56,249千円。4月15日の議会運営委員会で、増額前の内容を説明した時にもう少し対象人数を多くできないかという意見があった。
6. 担当部の方向性
増額前の交付金の活用としては、市民向けと中小企業向けの2つの事業を実施する予定にしているが、今回の交付金は、市民向けの経済対策に充て、より幅広い市民への支援につなげたいと考えている。
7. 質疑・意見等
意見：限られた財源を活用することになるので、今回の交付金の増額分の活用については、市民への支援となるレシートキャッシュバック事業だけで良い。 質問：増額することで、市民への給付などに影響はないか。 回答：市民への周知となる全戸配布や対象レシート期間、受付期間は少し変更となるが、市民への給付という点では時期を変更することなく、進められる予定である。 意見：資料については、令和7年4月15日議会運営委員会資料からの変更点を記載できていることから、総務生活常任委員会へはこの資料で説明する。 質問：市民に周知するための広報誌への掲載は間に合うか。 回答：担当課とは既に調整を進めており、最終校正に間に合う予定である。

8. 結論
国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額分（56,249千円）を全額レシートキャッシュバック事業に充当する。6月議会の補正予算として、資料に基づいて市議会へ説明する。